

MORLIN 社内報

第 3 号

1985

9

波 紋



「英会話教室 始まる」

Let us learn and use English
for
internationalization of Japan
as well as expansion
of morimatsu Co.

SAYED GHAZANFAR SABEH

「六父苦上点」

「水団」を知らない世代

「水団」毎年8月15日敗戦記念日が近づく、よく聞く名前の食物です。「スイトン」・小麦粉を水でこね、ちぎってイモのツルや大根の葉の入った汁で煮た食物のことです。実は私自身は昭和21年生まれで知らない。社員でこの味を知っているのは、会長(75才)・宮本さん(54才)・長沢さん(48才)の三人しかいない。森松の平均年齢は33才です。役員を除くと29.8才になります。23人中5人が、戦前生まれで80%が戦後生まれです。

「戦争」が映画やテレビでしか認識する事が出来ない現在、今の平和がいつまでもずーと続くような気持ちでいる私たち、豊かさの上で安住してしまい、目先の幸せに喜んでいては、このように私たちに悲惨な戦争の話を通じて体験者の方は語り伝えて欲しい。今度起きる戦争は「核」戦争です。「核」を使用すれば当事国でなくても地球全体に影響し、人類の破滅につながります。「核」の色々な問題に関心をもち、私たちの子供や孫に、すばらしい自然環境を引き継ぎましょう。

森 信之



「森松備の決算にあたり」

森松産業が本年度六月の決算において予算を上回る実績に終わりましたが、(前年度比18%アップ)九月に決算を迎える森松備の数字がよろしくありません。確かにビニール業界は今、非常に厳しい様子です。森松は「売り上げ絶対主義」ではありませんが、「利益」も生まれる訳です。

その「利益」の中から収入を得、機械を買う事もできるのです。従って、予算に対しては「ひたむき」であり「真剣」でなくてはなりません。将来の計画も、皆さんの生活のレベルアップも、全て「利益」の中から生まれます。残りのわずかな日数であっても、積極的に行動しましょう。

森松の営業マンは若いと、お客様にも仕入先様からもよく言われます。失敗も良くあります。お客様からおしかりをうけることもよくあります。しかし、若いという事は、あきらめずに挑戦できるという体力と情熱があるということです。このすばらしい特権を大いに生かし、毎日毎日を充実した内容で過ごせば、目標は達成できます。

来年は三十周年記念です。我々は、全員で気持ちよく三十周年を迎えたいと思います。「頑張りましょう」

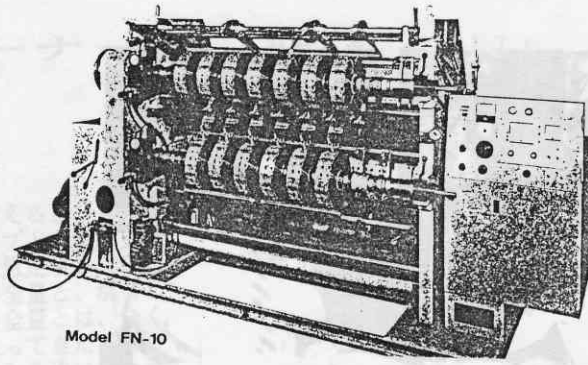
木村英利

スリッター機導入

八月一日にスリッター機がはいりまして只今、下垣君が中心となり猛特訓中であります。

浅井スリッター社長が言われます様に、それなりにノウハウがあります。森松マン精神で頑張っておりますが、どうぞ宜しくお願いします。九月中旬までには発車オーライです。

横山敏秋



Model FN-10

●特長

1. GMP対策に対応して開発された西原的な巻取軸「NS-PAIRFLEX SHAFT」を採用しています。
2. 製品取出時、巻取軸を片持ちにすることによりハンドリングが容易で作業時間が大巾に短縮されます。
3. コア位置決め装置により、位置決め操作がワンタッチで可能です。
4. 近接ローラー装置にてタッチ感、浮かし感も兼用により、超薄フィルムも可能です。

特別寄稿

サンカンパニー 小栗清

昭和五十九年二月二十日付で、森松備を退社して早くも一年半になろうというには、あまりにも言葉が重いのですが、何とか、皆様のおかげで自分なりに頑張っています。

仕事の内容上、製品の仕事が多いため、森松備さんへ、訪れる事が多いのですが、通り慣れた階段を登る度になつかしさを通り越して「ただいま。」と言ってしまうような時があります。時折りまじ自分、森松備の社員の様な気になります。それは、森松長、木村部長、又たくさんの社員の人達と、仕事の話ばかりでなく、それ以外で話をする時など、一年半前の自分と何も変わらず、話をしていく自分に気づく時です。

短い文章の中で、森松備さんから独立でき、又その後の事を記す事は、むずかしい事ですが、現在、私が今、こうして、森松備さんとお付き合いさせていただいていると言う事実が、全てだと思っています。私が森松学校の、未熟な卒業生であっても、森松備は、わが母校であります。卒業生として、恥ずることなく、頑張りたいと思います。



慰安旅行参加記

北沢商会
北沢 宗一

先日の慰安旅行に社外から参加させて頂き、盛夏の中爽やかな、そして楽しい高原での思い出を作ることができました。特に白樺湖のテニス大会では大いに(汗汗)を流しました。二日間の日程の中で印象深く感じましたのは、慰安会イコール酒&カラオケのパターンにならず、幹事さんに任せきりでなく、全員が積極的に参加するという雰囲気であった点です。夕飯のひとときを、懐かしのポイスカウト風?なゲームで過ごすなど、柔軟性と行動力に溢れる貴社の社風を垣間見た気がします。この様な社風の会社に勤める皆様、羨ましくもあり美点は大切に生かして、浸透させていってほしいとも思います。

私のような者でよかったら、又次の会にも誘って下さい。





木の必需品
アット

森松産業がデスクマット生産を独自で始めて以来製造に携わってまいりました。当初は、少ない規格と枚数も現在の半分程度でした。人員は現在より多かったです。これも皆の改善改良によるもので、当初の倍の生産が出来る様合理化されたと思います。今後もデスクマット日本一を目指し又、あらゆる加工生産にも対応出来る様に頑張りたいと思います。新しい機械も入ってまいりましたが機械に対する知識を身に付け昔で言う職人的存在になる様努力していきます。
横山敏秋

私は入社して三年と四ヶ月になります。自分なりに若いと思って入社しましたがもっと若い人ばかりで、みんな頑張っている事に驚きました。何の能力もない私も若い人に負けない様に、自分自身の勉強をしなければいけません。自分自身の体も古く目の前の事しか考えが付かない事が多々あります。ただ今思う事は、一つでも良いので、自分で出来る事があればそれを人に負けない様に、自分なりに勉強して、そして一つが又一つと増える様頑張るって行こうということです。幸い他の会社や工場の見学にも行く事も出来、目標を作って頑張っていきます。この道より 我を生かす道はなし
この道を大切に
長沢三三五

昨年一月に森松に入社して早いもので一年半がすぎました。入社間もない昨年四月に大きな怪我をして皆様に大変な御迷惑をかけた事を今でも、心苦しく思っています。仕事は三号機プレスを担当していますが横山課長の指導宜ろしきを得て、大分プレスの要領がわかってきたこの頃です。まだまだ難しい仕事が多くあり、若い人に比べてのみこみも悪いのですが、二度と事故を起こさない様に、今後も頑張っていくたいと思っています。よろしく御指導の程をお願いいたします。
宮本昌俊

英会話教室の

一期生になって

森松も遂に国際化にそなえて！
？とにかくこの八月から初歩からの英会話教室を始めました。第一期生(半年間)は七名、先生は37歳のとっても愉快なミスターサーベ、まだ2回の授業ですが2時間がとても楽しくすぐに過ぎてしまふ感じがです。先ず教えられた事は「恥ずかしさを捨てて、声に出してとどんどん話してみよう」前の時間に習った事は必ず覚えましょう。(なかなか出来ませんが)そして繰り返して言う。半年の間とにかくgive upしないで頑張ってみます。

橋本正子

今、日本は、いえ、あらゆる国がそれぞれすごい早さで国際化への道を進んでいると思えます。いろいろな国との交流が盛んになり身近な所で外国の方とのふれあいも起きてくると思えます。言葉を知らないから、解らないから、と避けてばかりでは自分からその国に対しての心の窓を閉じてしまつていのではないでしようか？一言、ありがとう。こんにちは。からコミュニケーションは始まりその国に対して親しみと興味湧き、心の窓も知らず知らずのうちに開かれていくのでは。今からでも決して遅くはないと思っております。あせらず一歩一歩ことばの宇宙への旅立ちです。

「映画」

家族そろって 映画を観に行くのが楽しみでありまして、今、流行りの「感性」を育てるのにいいんじゃないかと思つてる次第であります。
「E・T」なんてのは子供と観て最高でしたし、「インディ・ジョーンズ」もよかったです。お子様ランチ、だと笑われる方も見えるかも知りませんが逆立ちしても、国内じゃ出来ませんが金をかけりゃ、いってもんじゃありませんが、どうも、日本の映画は楽しませてくれるのが、少ないというか、無いというか・・・金をどかかかける、そしてどかかともうける、そして、観る人を楽しませてくれる、夢があつて大変結構であります。「ランボー 2」というのを子供にせがまれて、観たいという映画じゃないけれど主人公の出演料が、三五億円という？バカバカしい理由で観てきました。とにかくお客様を楽しませるといふこの原点に、日本の映画関係の人達も、でも、「お葬式」という日本映画おもしろかったですよ。そのうちに「乱」を観に行きます。そのうちにです。以前の黒澤監督よかったですね！

木村英利



今月の社内行事

おしりせ

まじごころクッキング

一日 テニス同好会、第一回練習日
 コーチにプロテニスプレーヤーの河北明也氏を迎え、基本的なレッスンをして頂く

森社長 「陽光会」 海外経済事情視察旅行出発
 北欧と英国に訪問

五日 森松野球部 練習試合
 対戦相手 花井組
 場所 大府中学校グラウンド
 にて午後7時より

十四日 森社長・視察旅行より帰国

第二土曜日・休日

「テニス同好会」

この度、テニス同好会を発足致しました。

会長 大橋康成
 会計 孫田邦彦
 コーチ 富田美千代
 ※入会希望者は至急申し出てください。

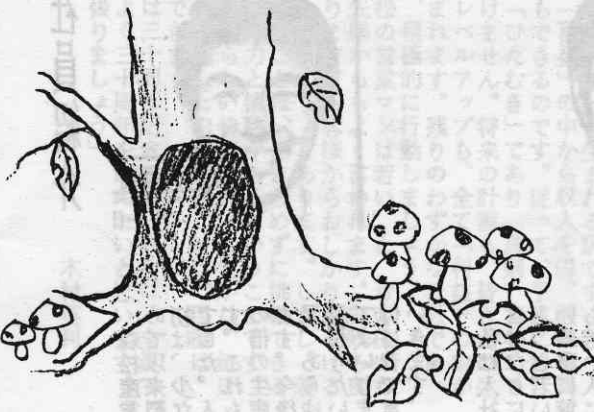
△9月の練習日▽
 1日 午前8時半～12時
 7日 午後5時～8時半
 11日 午後5時～8時半
 16日 午前8時半～12時
 22日 午前8時半～12時

※「グルメ同好会」より8月31日は都合により日延べさせて頂きます。日程は追ってお知らせします。

作り方

（マドレーヌ） 森則子

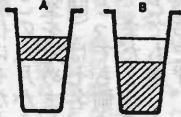
- ①卵は白味と黄味に分け、薄力粉・砂糖・泡立て、次に砂糖を2～3回に分けて加え泡立えます。
- ②①に黄味を加えパターで溶かす。
- ③②に小麦粉をふるいにかけ、滑らかに軽く混ぜ合わせます。
- ④バターを溶かし③に加えてさつと混ぜて、型に生地を等分に流し入れます。
- ⑤④をオーブンで皿の上に6個～7個入れて焼き上げます。急に高い温度はダメ！様子を見ながら高くする。10分～13分



クイズコーナー

8月号のクイズの解答
 答え・・・同じ

解説・・・混合液として考えると、とても厄介になる。そこで、水とブドウ酒が分離して、図のようになったと想定する。Bは、最初のブドウ酒だけの時の全量と、混合してAと量をそろえたあとの全量とは、全くかわっていない。結局、入ってきた水だけのブドウ酒がコップから追い出され、その分は、ちょうど、Aのコップの中移動したことになる。



第一回クイズ当選者発表
 下垣紀一 岩間正美 山口みち子

*次回のクイズは、10月号に載せますのでご期待ください。

編集発行者
 森松株式会社
 発行責任者
 牧野 光昌

昭和60年9月1日
 第3号

お盆も過ぎ長い休みも終わりました。いよいよ九月になり、それぞれ海や山へと充実した時間を過ごした事と思われまふ。

さて、今回で新聞も第三号が出版されたわけですが、だんだんと中身の濃いものにと頑張っている私達編集部ですが、いかがでしょうか？

今回は英会話教室が始まり、その感想なども載せてみましたが、他にも新しい内容がたくさんあり楽しんでいただけると思います。

これからも、何か面白い情報がありましたらどんどん取り上げて、幅広く皆様に楽しく読んでいただける様に努力したいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

編集後記

富田美千代